



平成 27 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ク マ
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 加 藤 隆 昭
 (コ ー ド 番 号 6 0 1 3 東 証 第 1 部)
 問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 泉 雅 彦
 経 営 企 画 本 部 長
 電 話 番 号 0 6 - 6 4 8 3 - 2 6 0 2

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）の連結決算及び個別決算において、下記のとおり特別損失を計上いたしますのでお知らせいたします。また、平成 26 年 8 月 8 日に公表しております平成 27 年 3 月期通期の業績予想を修正いたします。

記

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失の計上(連結)

当社の連結子会社であるカンポリサイクルプラザ株式会社において、同社の廃棄物処理事業にかかる施設の老朽化が著しいため、同社が所有する固定資産を減損処理し、連結決算において減損損失 14 億円を特別損失に計上いたします。

(2) 貸倒引当金繰入額の計上(個別)

カンポリサイクルプラザ株式会社の減損処理にともない、同社への貸付金について貸倒引当金を設定し、個別決算において貸倒引当金繰入額として 20 億円を特別損失に計上いたします。

なお、貸倒引当金繰入額は連結上消去されるため、連結決算においては計上されません。

2. 平成 27 年 3 月期通期の業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

(1) 連結業績予想数値の修正

| | 売 上 高 | 営 業 利 益 | 経 常 利 益 | 当 期 純 利 益 | 1 株 当 た り 当 期 純 利 益 |
|--------------------------------|----------------|--------------|--------------|--------------|------------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 110,000 | 百万円 8,500 | 百万円 9,000 | 百万円 9,000 | 円 銭 108.86 |
| 今回修正予想 (B) | 103,800 | 8,200 | 9,100 | 8,000 | 96.76 |
| 増減額 (B - A) | △6,200 | △300 | 100 | △1,000 | |
| 増減率 (%) | △5.6 | △3.5 | 1.1 | △11.1 | |
| (ご参考) 前年通期実績 (平成 26 年 3 月期) | 96,333 | 8,423 | 9,449 | 8,834 | 106.86 |

(2) 個別業績予想数値の修正

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|--------------------------------|---------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 70,000 | 百万円 6,000 | 百万円 8,000 | 百万円 9,000 | 円 銭 108.48 |
| 今回修正予想 (B) | 64,200 | 5,600 | 8,000 | 6,900 | 83.17 |
| 増減額 (B - A) | △5,800 | △400 | — | △2,100 | |
| 増減率 (%) | △8.3 | △6.7 | — | △23.3 | |
| (ご参考) 前年通期実績 (平成 26 年 3 月期) | 51,702 | 3,871 | 6,530 | 6,792 | 81.87 |

3. 修正の理由

(1) 連結業績予想

当社グループの業績につきましては、バイオマス発電設備の建設工事を順調に受注しているほか、ごみ処理施設の建設工事、基幹改良工事なども受注しておりますが、過年度に当社が受注した建設工事において予想していたほど進捗しなかったものがあり、売上高は、前回予想を下回る見込みとなりました。

損益面では、土木建築がある一部のごみ処理施設の建設工事などで、人手不足などにより工事価格が急激に上昇しているなか、受注後の建設業者などへの発注には一定期間を要することから発注段階で想定を大きく超える費用が生じることとなり、当社において工事損失引当金繰入額として 42 億円を計上いたします。しかしながら、それ以外の工事を含め当社グループの事業全般においては順調に進捗し原価低減もはかれています。これにより、営業利益は前回予想を僅かながら下回るものの、持分法適用会社の業績も堅調であり営業外収益が予想を上回る見通しとなることから、経常利益は前回予想を僅かながら上回る見込みであります。ただし、前掲のとおり特別損失を計上することから、当期純利益は前回予想を下回る見込みとなります。

(2) 個別業績予想

当社の業績につきましても、前述のとおりであり、売上高は前回予想を下回る見込みとなり、営業利益も前回予想を下回るものの、経常利益はほぼ前回予想どおりとなる見込みであります。ただし、前掲のとおり特別損失を計上することから、当期純利益は前回予想を下回る見込みとなります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上